

平成29年度

市政モニターアンケート調査結果  
【 長崎市の世界遺産について 】



長 崎 市  
世界遺産推進室

## 1. 調査の目的

長崎市は2つの世界遺産があるまちを目指していますが、市民のかたに長崎の世界遺産および世界遺産候補を理解していただきたいと考えています。

そのため、遺産や各構成資産に対する市民の認知度や関心の高さについて調査することで、今後の世界遺産の周知啓発活動に生かすことを目的としています。

## 2. 調査の概要

調査期間：平成29年5月29日～平成29年6月12日

送付数：216人（郵送モニター 174人 インターネットモニター 42人）

回答率：78.7%（170人）

（郵送モニター 151人 インターネットモニター 19人）

## 3. 調査結果

今回の調査結果から、長崎市には1つの世界遺産と、1つの世界遺産候補があり、「2つの世界遺産登録」を目指していることは多くの市民のかたに知っていただいていることが分かったものの、昨年度同様に個々の構成資産の認知度に大きな差があり、世界遺産全体の価値の周知に加え、各構成資産の価値や魅力等の周知啓発をより進めていく必要があります。

「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業（以下、「産業革命遺産」という。）」については、長崎市内にあることを知っている人の割合が高く、認知度が高いものの、構成資産ごとにみると一番認知度の高い「端島（軍艦島）」と、一番認知度の低い「旧木型場」との差が76.4ポイントあります。非公開の構成資産であり、同じく認知度の低い三菱長崎造船所内の「第三船渠」「占勝閣」について、公開されている「旧木型場」を活用する必要があります。

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産（以下、「潜伏キリシタン関連遺産」という。）」については、昨年度、「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」から名称が変わったこともあり、「産業革命遺産」と比較すると認知度は低いものの、構成資産ごとにみると一番認知度の高い「大浦天主堂」と、一番認知度の低い「外海の大野集落」との差は57.6ポイントであり、差を埋めるためには、昨年7月に展示内容をリニューアルした外海歴史民俗資料館を活用し、外海地区の構成資産を紹介する必要があります。また、今年度、広報ながさきの毎号で、「潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産を紹介するコラムを掲載していますが、今後もさまざまな機会を使い周知啓発を行うことが重要であると考えます。

また、実際に「産業革命遺産」「潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産に行ったかたは、行った理由として「世界遺産に興味があったから」「歴史的背景に興味があったから」「各構成資産に興味があったから」と回答したかたが 7 割近くを占めており、世界遺産への関心は高い結果がでていることから、「産業革命遺産」については、グラバー園内にある旧三菱第 2 ドックハウスにあるインフォメーションコーナー、「潜伏キリシタン関連遺産」については、外海にある外海歴史民俗資料館において、世界遺産に高い関心を持っているかたが、満足できる展示内容とする必要があります。

一方で、「産業革命遺産」「潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産に行かない理由として「行くための手段がないから」と回答したかたが多かったことから、今後は手段を持たないかたへの対応を考える必要があります。

本アンケートで寄せられたご意見を参考に、今後とも 2 つの世界遺産にへ向けてご理解を深めていただけるよう周知啓発に努めてまいります。

最後に、本アンケートにご協力いただきました皆さまに心からお礼を申し上げます。

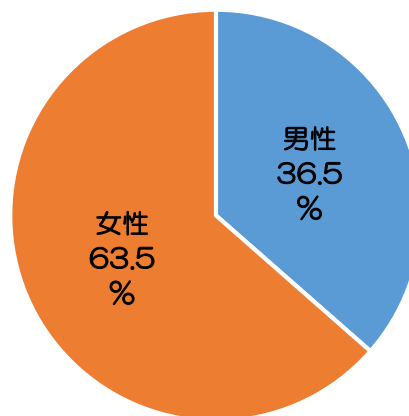
#### 4. 調査結果の見方

調査結果の数字は、百分率で表記しているものがあり、百分率の値は、小数点以下第 2 位を四捨五入して、小数点第 1 位まで表記しています。そのため、内訳を合計しても 100%に合致しない場合があります。

また、複数回答可とした設問においては、合計が 100%を上回る場合があります。

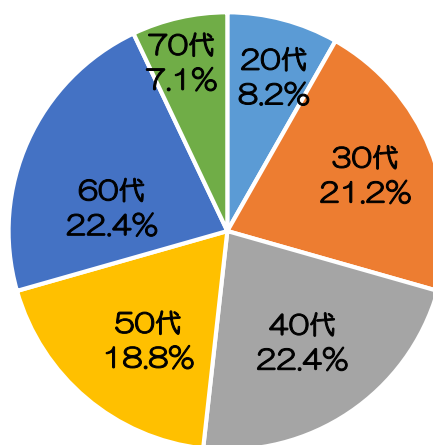
問1 あなたの性別をお答えください。

選択肢	回答者数	割合
男性	62人	36.5%
女性	108人	63.5%
合計	170人	100.0%



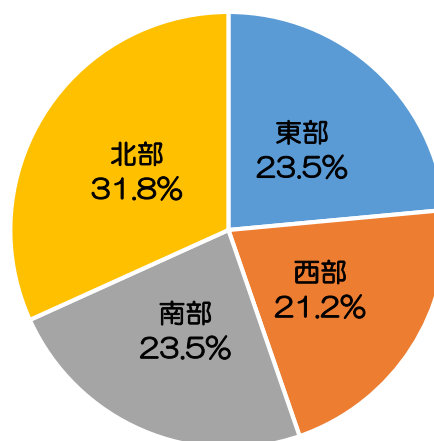
問2 あなたの年齢を選択してください。

選択肢	回答者数	割合
20代	14人	8.2%
30代	36人	21.2%
40代	38人	22.4%
50代	32人	18.8%
60代	38人	22.4%
70代	12人	7.1%
合計	170人	100.0%



問3 お住まいの町名を教えてください。

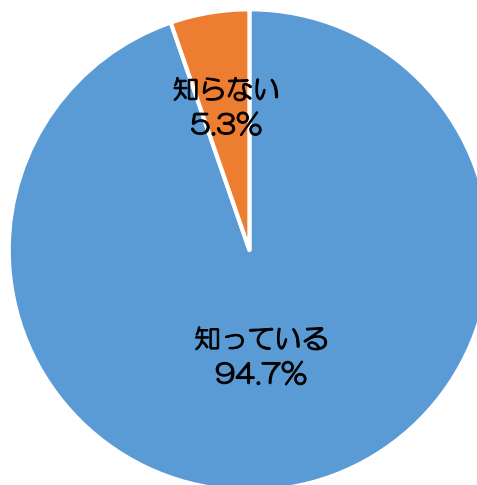
選択肢	回答者数	割合
東部	40人	23.5%
西部	36人	21.2%
南部	40人	23.5%
北部	54人	31.8%
合計	170人	100.0%



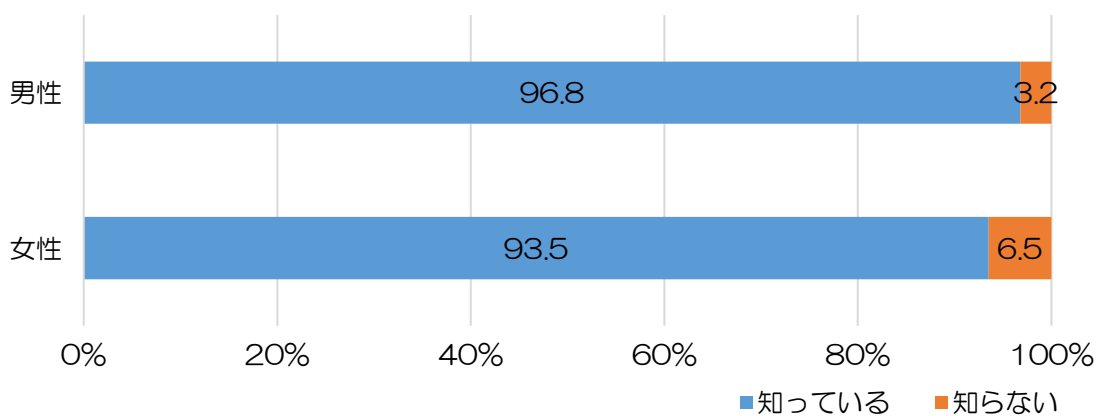
※ご記入いただいた町名をもとに東西南北に分けて集計しています。

問4 長崎市内に世界遺産の「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」があることを知っていますか。

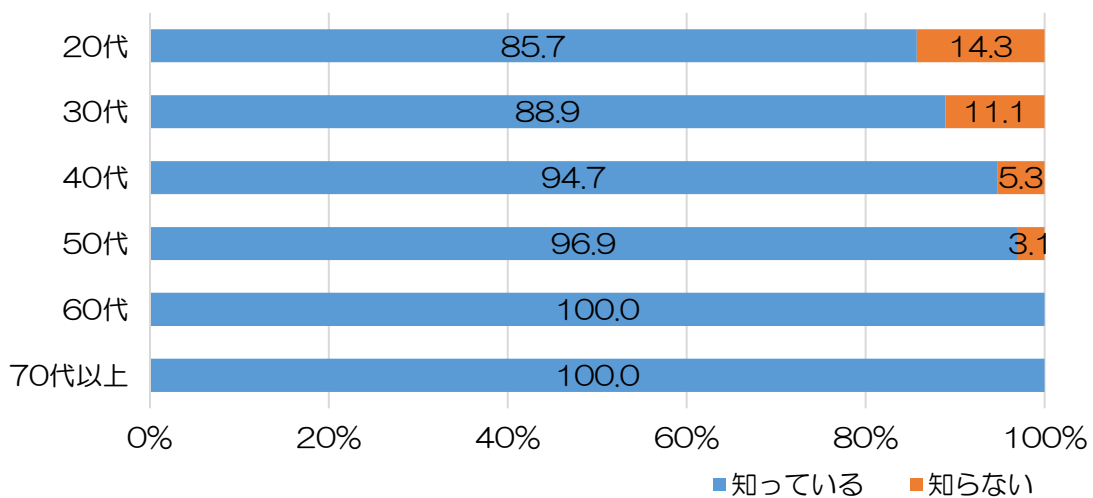
選択肢	回答者数	割合
知っている	161人	94.7%
知らない	9人	5.3%
合計	170人	100.0%



〈性別割合〉



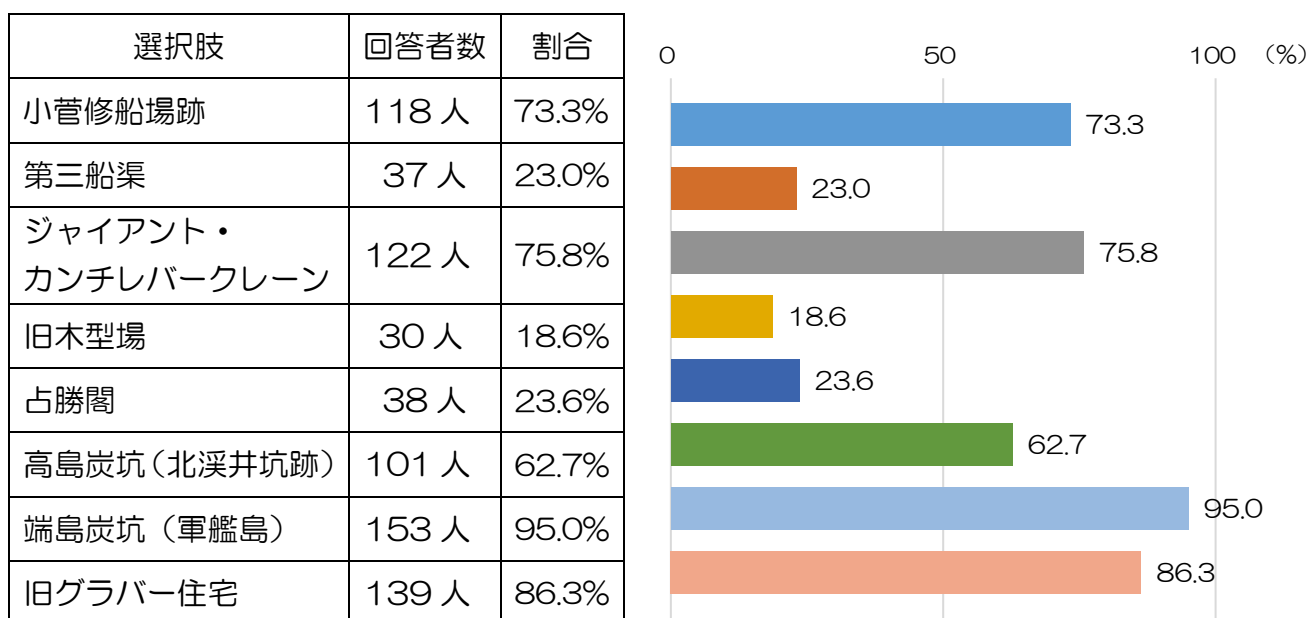
〈年代別割合〉



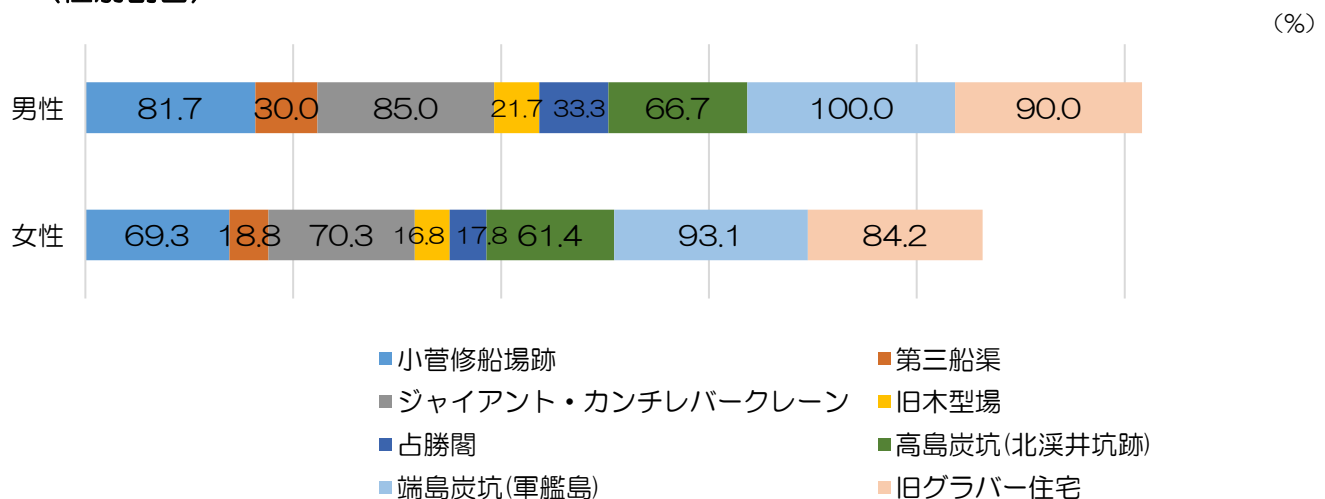
長崎市内に世界遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産があることを知っていると感じたかたの割合は94.7%で、認知度が高いことが分かりました。

ただし、年代別で見ると、60代および70代以上では100%が「知っている」と答えています。50代、40代、30代、20代と年代が低くなるにつれ「知らない」と答えたかたの割合が高いという結果になりました。

問5 問4で「知っている」と回答したかたに質問です。長崎市内にある「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」のうち知っている構成資産に○をつけてください。【複数回答可】

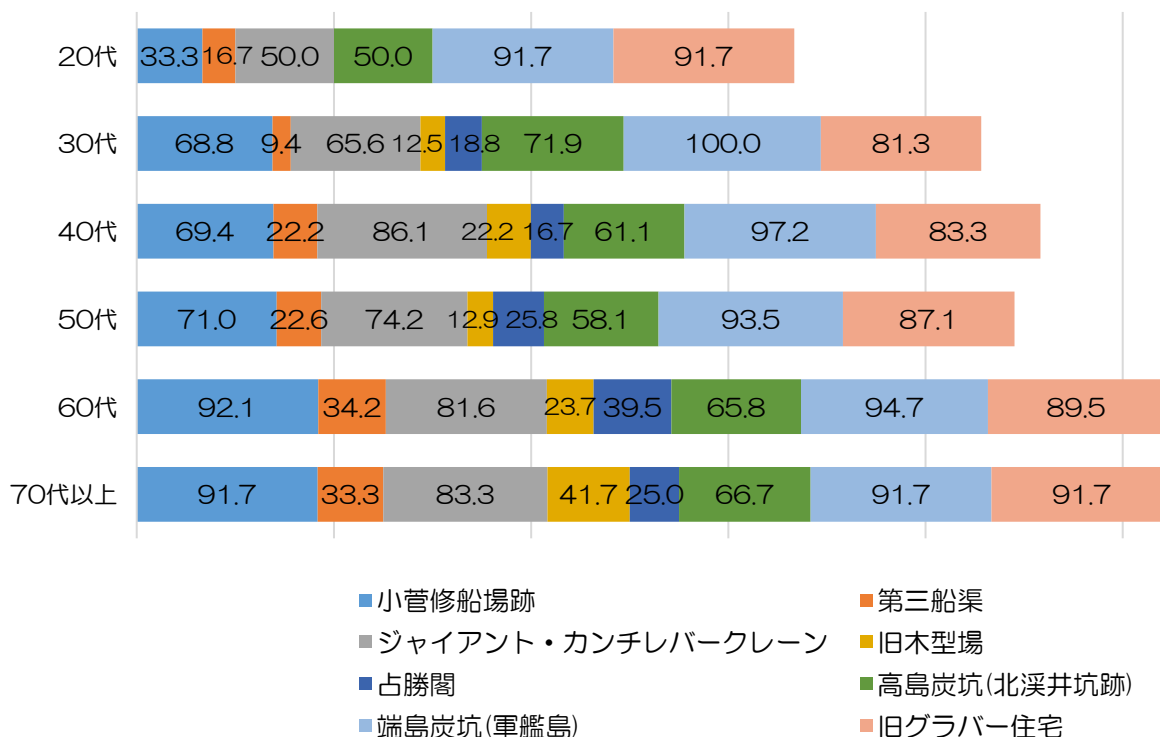


〈性別割合〉



## 〈年代別割合〉

(%)



構成資産ごとに見ると、認知度にばらつきがあることが分かりました。

「端島炭坑（軍艦島）（95.0%）」や「旧グラバー住宅（86.3%）」は昨年のアンケート結果（「端島炭坑（軍艦島）（96.6%）」「旧グラバー住宅（85.2%）」）から引き続き認知度が高いものの、三菱長崎造船所構内にある稼働資産のうち「第三船渠（23.0%）」「旧木型場（18.6%）」「占勝閣（23.6%）」の認知度は低い結果となりました。

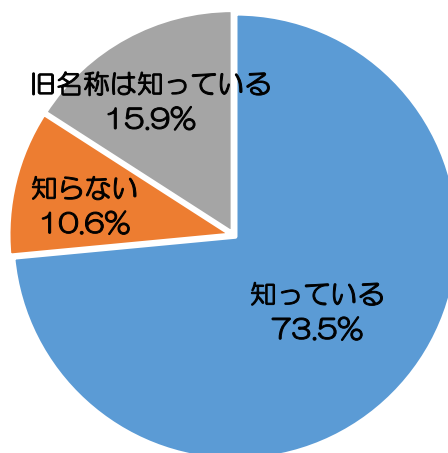
しかしながら、昨年度のアンケート結果（「第三船渠（22.2%）」「旧木型場（17.6%）」「占勝閣（22.7%）」）と比較すると、少しずつ認知度が上がってきていることが分かります。

性別で見ると、全構成資産において女性よりも男性の方が認知度が高く、特に「端島炭坑（軍艦島）」の認知度は100%でした。

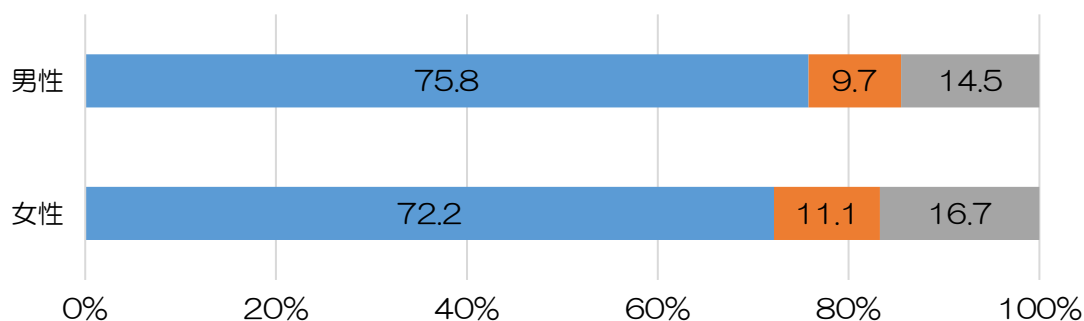
年代別では、20代はほかの年代と比較して、「旧グラバー住宅」以外の認知度が全体的に低く、中でも「旧木型場」と「占勝閣」は、昨年度同様、知っているという回答されたかたはいませんでした。

問6 長崎市内に世界遺産候補の「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」があることを知っていますか。

選択肢	回答者数	割合
知っている	125人	73.5%
知らない	18人	10.6%
「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」(旧名称)は知っている	27人	15.9%
合計	170人	100.0%

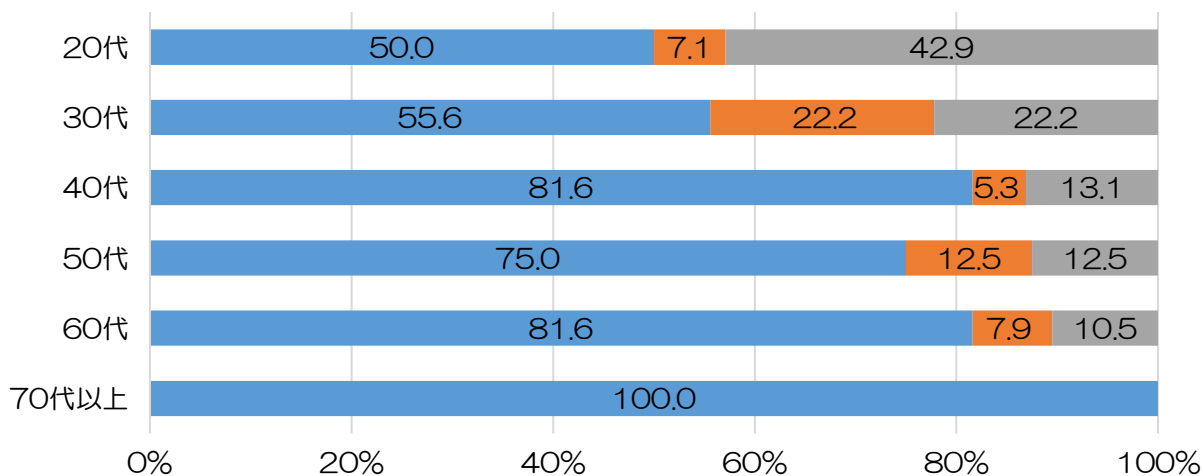


〈性別割合〉



- 知っている
- 知らない
- 「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」(旧名称)は知っている

〈年代別割合〉



- 知っている
- 知らない
- 「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」(旧名称)は知っている



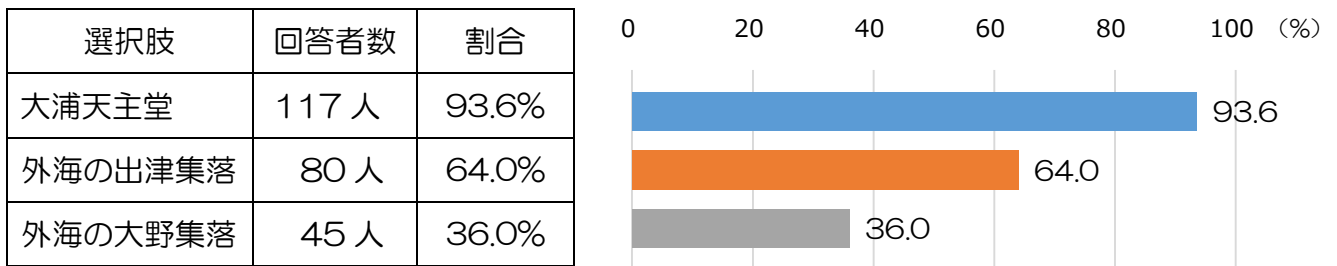
長崎市内に世界遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」があることを「知っている」と答えたかたの割合は73.5%で、認知度が高いことが分かりました。

ただし、問4「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」を「知っている」と答えたかたの割合94.7%と比べるとやや低いという結果になっています。

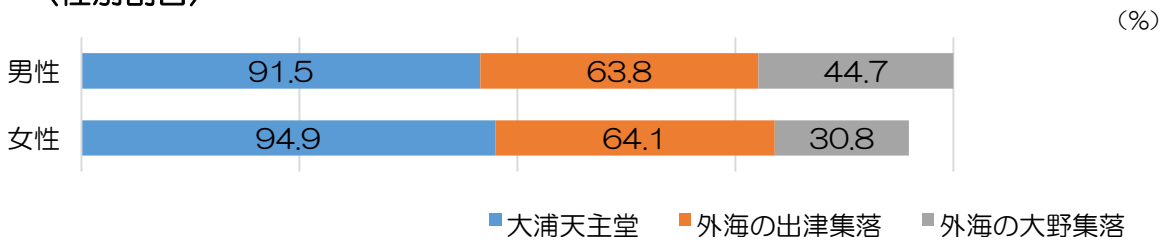
また、新名称を知らない人のうち、「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」(旧名称)は知っている」と答えたかたの割合が15.9%となっており、未だに新名称を認知していないかたがいることが分かりました。

特に年代別でみると、年代が低くなるにつれ、「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」(旧名称)は知っている」と答えたかたの割合が高くなり、20代の新名称の認知度が低いことが分かりました。

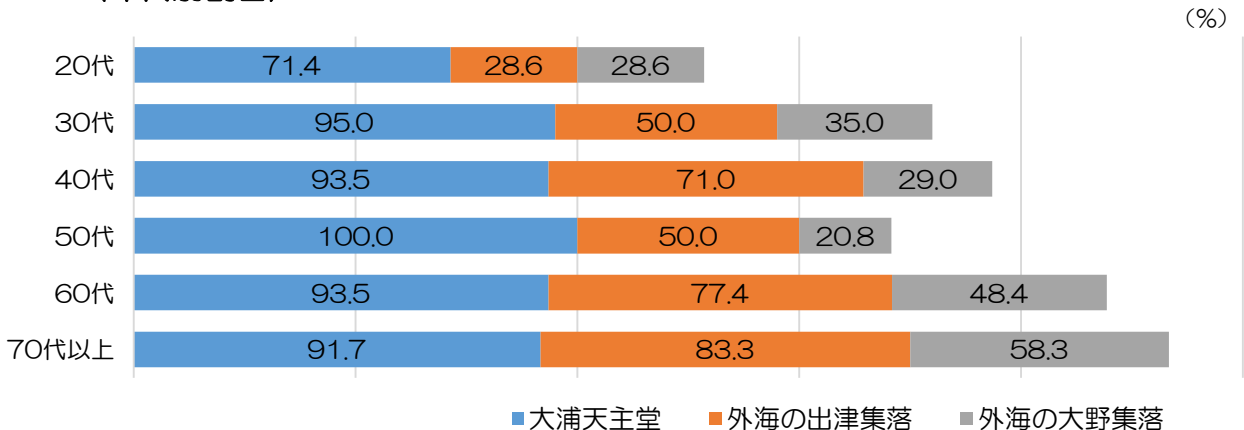
問7 問6で「知っている」と回答したかたに質問です。長崎市内にある「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」のうち知っている構成資産に○をつけてください。【複数回答可】



〈性別割合〉



〈年代別割合〉



構成資産ごとに見ると、認知度にばらつきがあることが分かりました。

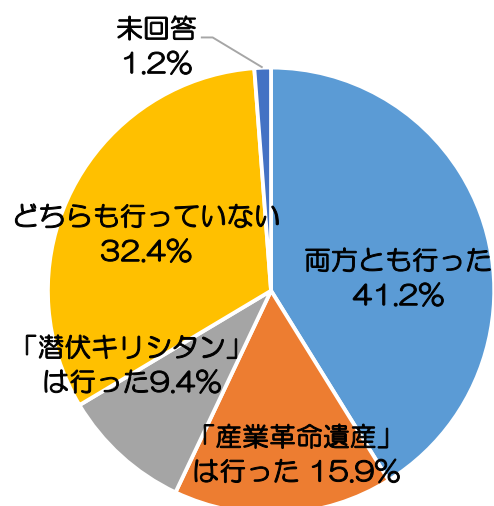
観光地である「大浦天主堂(93.6%)」の認知度は昨年に引き続き高いものの、「外海の出津集落(64.0%)」「外海の大野集落(36.0%)」については認知度が低い結果となりました。

しかしながら、昨年度のアンケート結果(「出津教会堂と関連遺産(42.0%)」「大野教会堂(13.3%)」)と比較すると、構成資産の範囲が変わったにも関わらず、認知度が上がっていることが分かります。

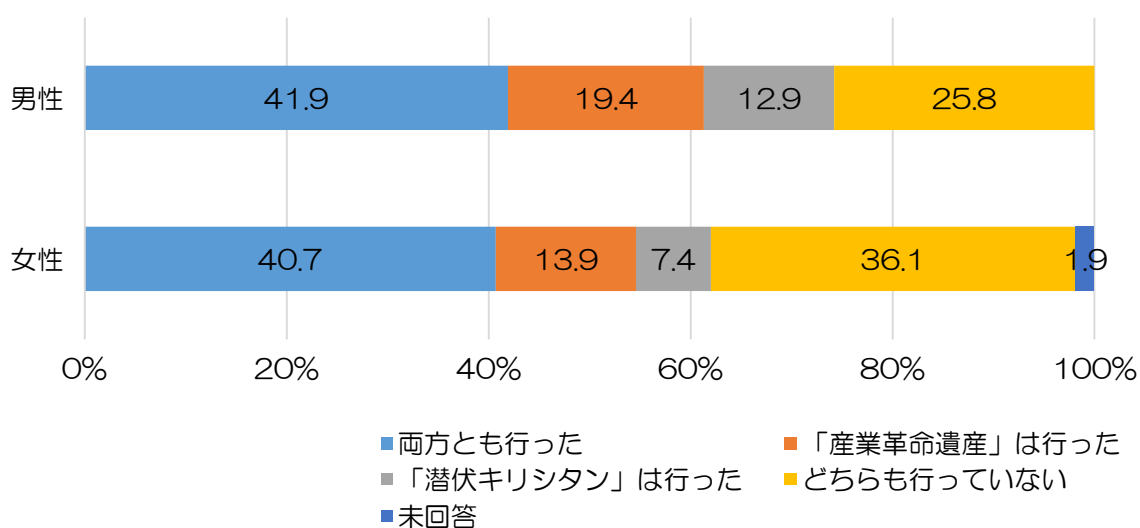
年代別にみると、20代の「外海の出津集落(28.6%)」「外海の大野集落(28.6%)」の認知度が、ほかの年代に比べて低いことが分かりました。

問8 世界遺産および世界遺産候補の構成資産に実際に行ったことがありますか。  
(1カ所でも行ったことがあれば、「行った」をお選びください。)

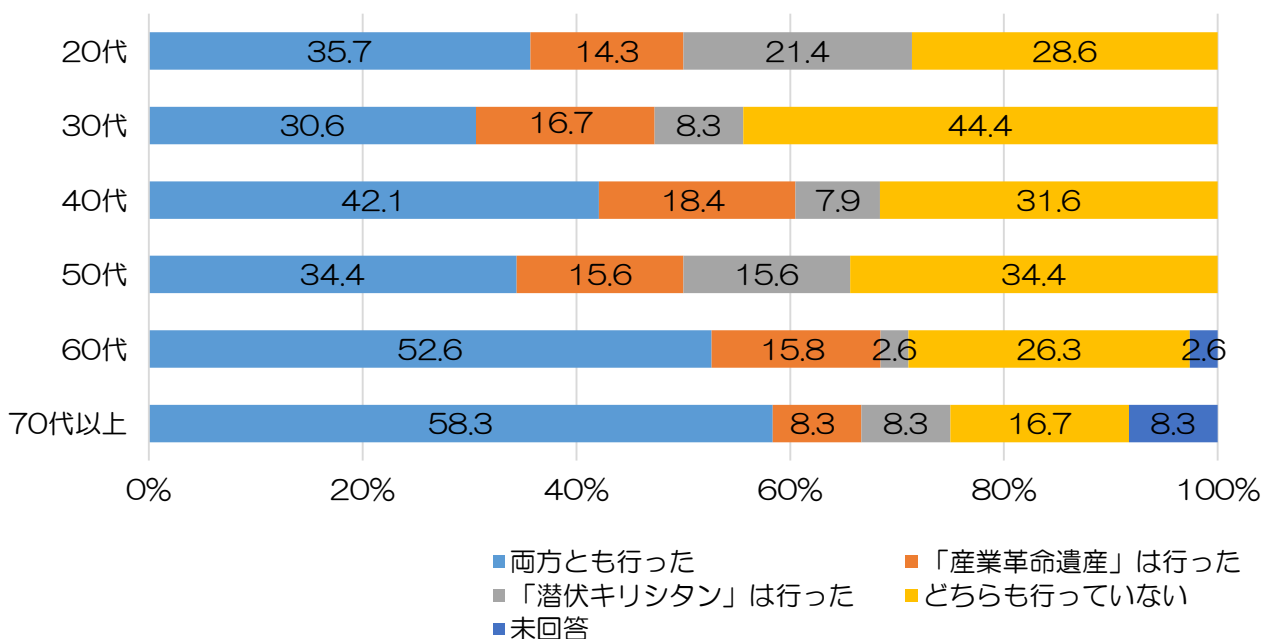
選択肢	回答者数	割合
両方とも行った	70人	41.2%
「産業革命遺産」は行った	27人	15.9%
「潜伏キリシタン」は行った	16人	9.4%
どちらも行ってない	55人	32.4%
未回答	2人	1.2%
合計	170人	100.0%



#### 〈性別割合〉



## 〈年代別割合〉



「産業革命遺産」と「潜伏キリシタン関連遺産」に行ったことがあるかを尋ねたところ、「両方とも行った」「産業革命遺産」は行った」「潜伏キリシタン」は行った」と答えたかたが66.5%おられ、実際に世界遺産（候補）の構成資産に行ったことがある人が半数を超えていることが分かります。

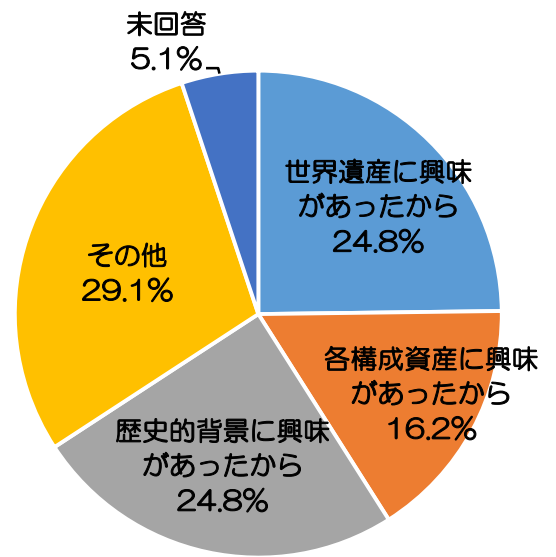
しかしながら、「どちらも行ってない」と答えたかたも32.4%おられ、性別で見ると女性(36.1%)の割合が、年代別で見ると30代(44.4%)の割合が高くなっています。

性別ごとでは、男女とも「潜伏キリシタン関連遺産」より「産業革命遺産」の方が実際に行ったかたが多い結果となりました。

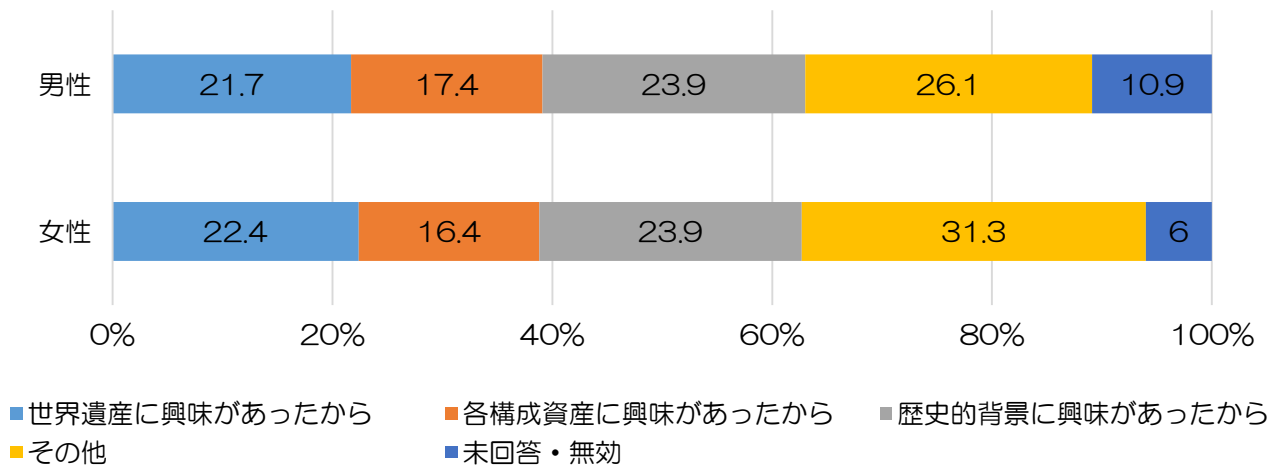
年代別で見ると、20代以外は「潜伏キリシタン関連遺産」より「産業革命遺産」の方が実際に行ったかたが多い(または同等)結果となり、「潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産により多くのかたに行っていたら、今後も引き続き構成資産の価値や魅力についての周知啓発を行っていきます。

問9 問8で「両方とも行った」「『産業革命遺産』は行った」「『潜伏キリシタン』は行った」と回答したかたに質問です。各構成資産に行ったご理由を一つお選びください。

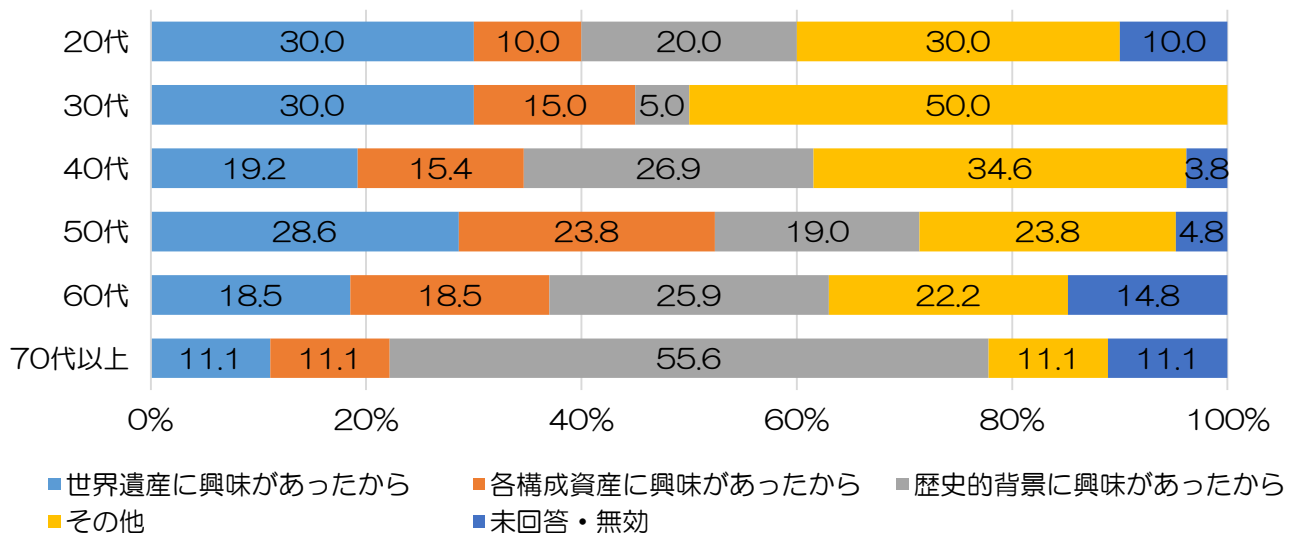
選択肢	回答者数	割合
世界遺産に興味があったから	25人	22.1%
各構成資産に興味があったから	19人	16.8%
歴史的背景に興味があったから	27人	23.9%
その他	33人	29.2%
未回答	9人	8.0%
合計	113人	100.0%



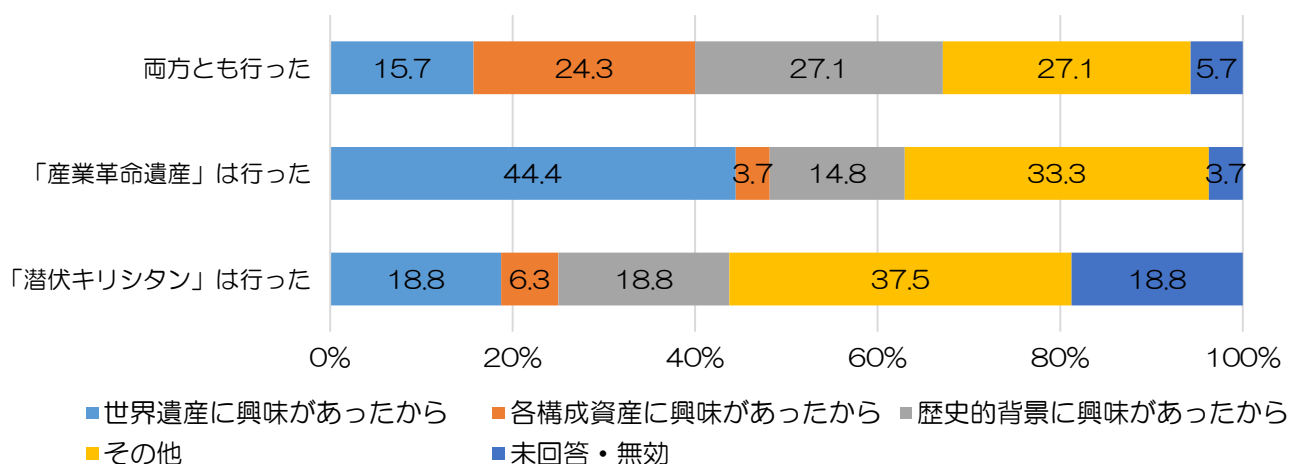
#### 〈性別割合〉



#### 〈年代別割合〉



## 〈行った遺産ごとの理由別割合〉



### その他の回答

#### 【両方とも行った】と回答した理由

- ・他県に住む友人と、長崎を観光した。
- ・有名なところに行ってみただけ。
- ・遺産になる前に行った。
- ・世界遺産になる前、天主堂が好きだったから。
- ・世界遺産になる前に長崎の事に興味があり行った。
- ・生活する中でたまたまその場所に訪れていた。
- ・亡くなった叔母が出津に居住していたので、よく行っていた。
- ・世界遺産になるずい分前に行った。
- ・出身地だから。
- ・友人が興味があったから。
- ・市内にある名所という感じでなんとなく行った。
- ・観光地だから。
- ・観光に行ったら遺産の場所であった。
- ・遺産候補に上がる前に行っていた。
- ・旧グラバー住宅：夏休みのあじさいノートで行くように書いてたから。  
大浦天主堂：自分の町もカトリックで潜伏キリシタンの町だと言われているから。
- ・子供の頃、親と。
- ・小学生の時の授業の一環で。

#### 【「産業革命遺産」は行った】と回答した理由

- ・子どもに見せたかった。
- ・たまたま小菅修船場跡内の駐車場を利用したから。
- ・県外の友だちの観光で。

- ・勤務場所であった。
- ・観光
- ・観光名所だったから。

【「潜伏キリシタン」は行った】と回答した理由

- ・近所だから。
- ・散歩
- ・観光
- ・近所だったから。(2件)

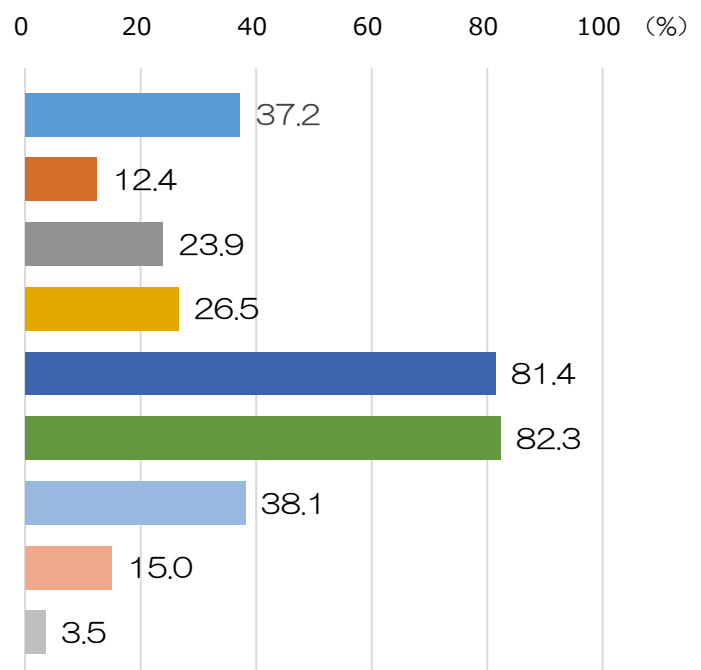
構成資産に行った理由として、「世界遺産に興味があったから(24.8%)」「歴史的背景に興味があったから(24.8%)」と回答されたかたが一番多く、全体の約半分を占める結果となりました。

年代別にみると、70代以上のかたの77.8%が「歴史的背景に興味があったから」と回答しており、関心が高いことが分かりました。

行った遺産ごとの理由別割合でみると、すでに世界遺産に登録されている「産業革命遺産」に行ったかたは、「世界遺産に興味があったから(44.4%)」との回答が半数近くを占め、世界遺産候補である「潜伏キリシタン関連遺産」に行ったかたは、「その他(37.5%)」の回答が多く、内容としては「近所だから」が一番多い結果となりました。

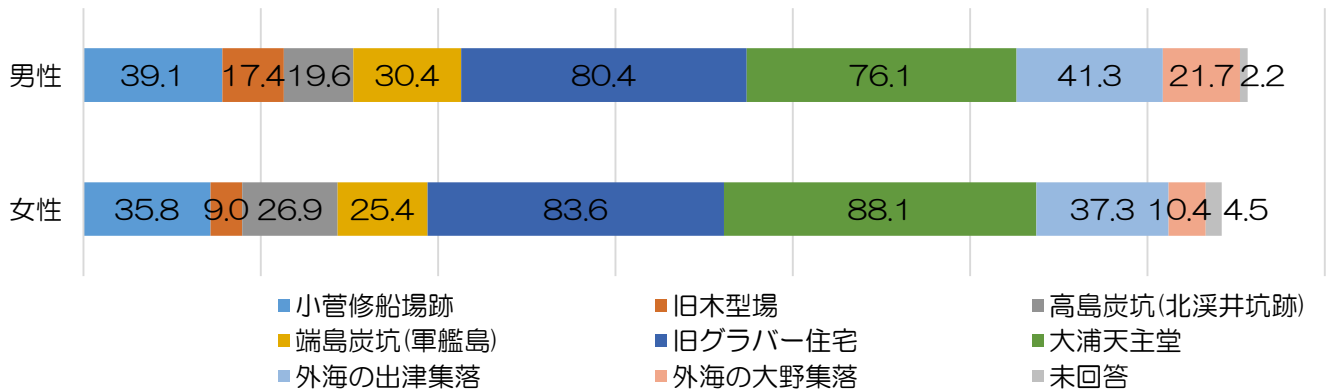
問10 問8で「両方とも行った」「『産業革命遺産』は行った」「『潜伏キリシタン』は行った」と回答したかたに質問です。行ったことがある構成資産に○をつけてください。【複数回答可】

選択肢	回答者数	割合
小菅修船場跡	42人	37.2%
旧木型場	14人	12.4%
高島炭坑（北溪井坑跡）	27人	23.9%
端島炭坑（軍艦島）	30人	26.5%
旧グラバー住宅	92人	81.4%
大浦天主堂	93人	82.3%
外海の出津集落	43人	38.1%
外海の大野集落	17人	15.0%
未回答	4人	3.5%



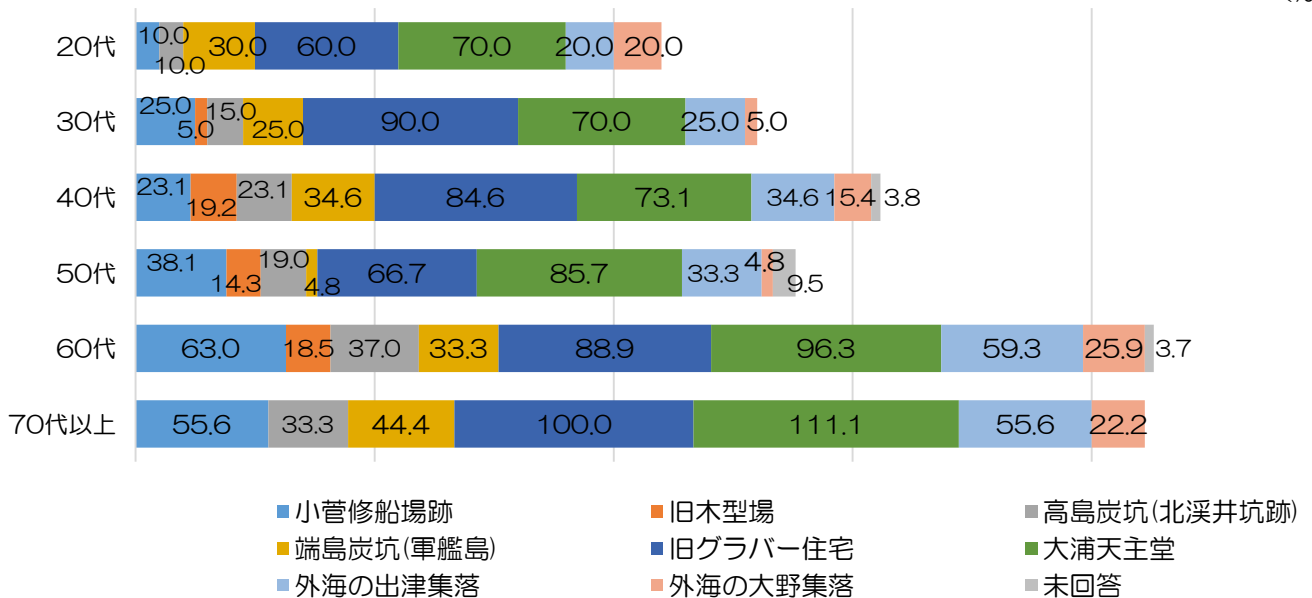
### 〈性別割合〉

(%)



### 〈年代別割合〉

(%)

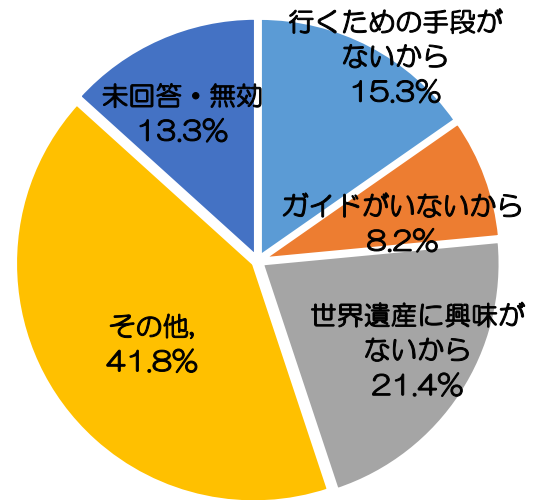


構成資産ごとにみると、市内中心部にあり観光地として知られることもあり、「大浦天主堂(82.3%)」「旧グラバー住宅(81.4%)」に実際に行ったかたが多く、性別ごと、年代ごとに見ても割合が高いことが分かります。

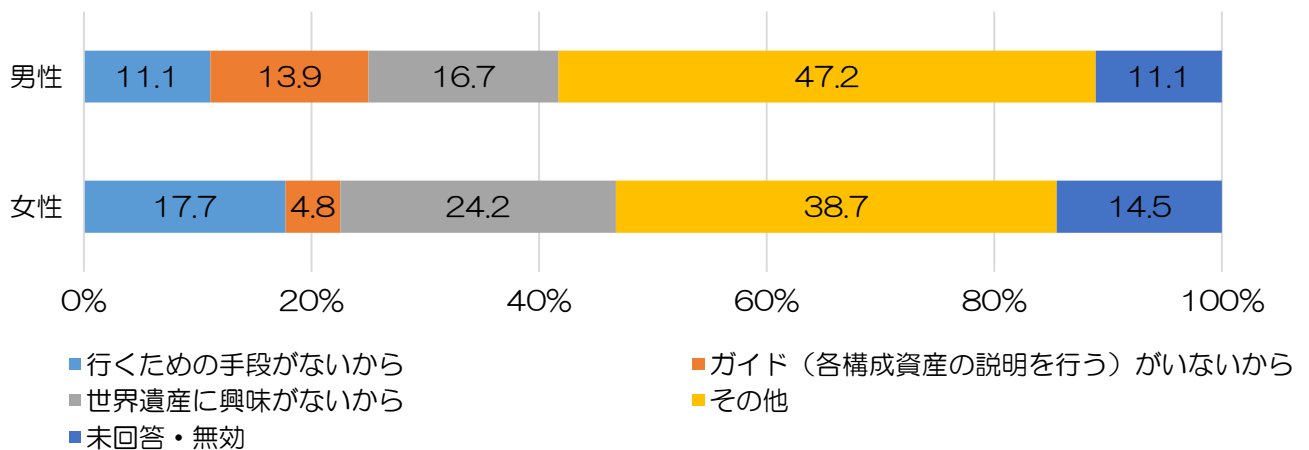
一方で、「外海の大野集落(15%)」「旧木型場(12.4%)」に実際に行ったかたは少なく、「旧木型場」について年代別でみると、20代および70代以上で訪れたかたはいないという結果でした。

問 11 問8で『産業革命遺産』は行った』『潜伏キリシタン』は行った「どちらも行っていない」と回答したかたに質問です。各構成資産に行かない理由があれば一つお選びください。

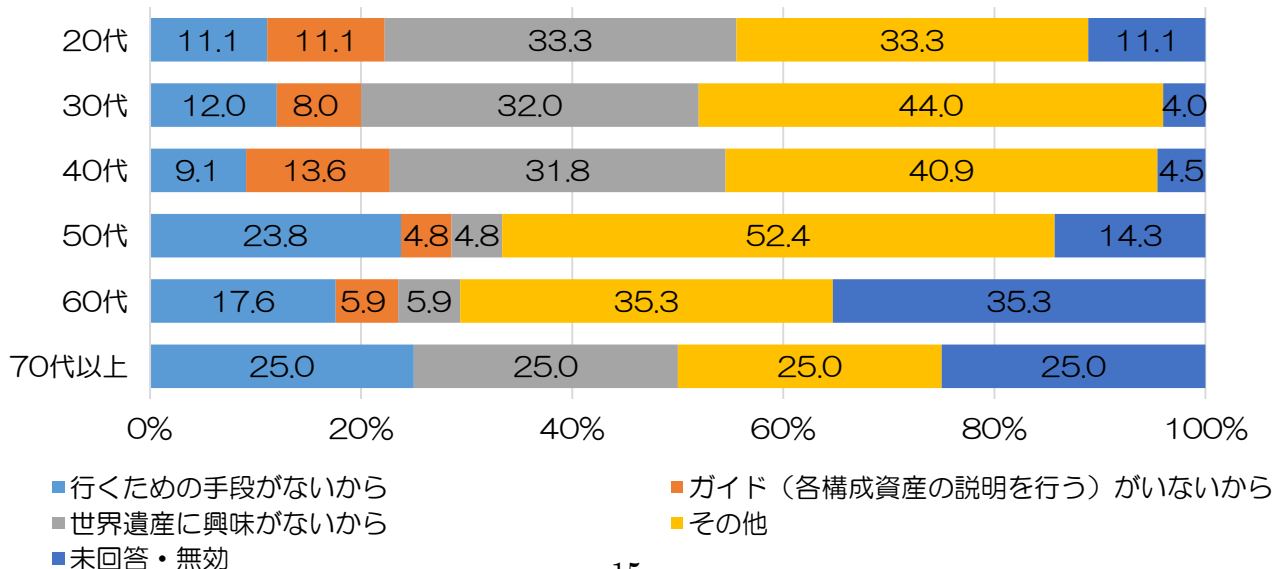
選択肢	回答者数	割合
行くための手段がないから	15人	15.3%
ガイド（各構成資産の説明を行う）がないから	8人	8.2%
世界遺産に興味がないから	21人	21.4%
その他	41人	41.8%
未回答・無効	13人	13.3%
合計	98人	100.0%



### 〈性別割合〉

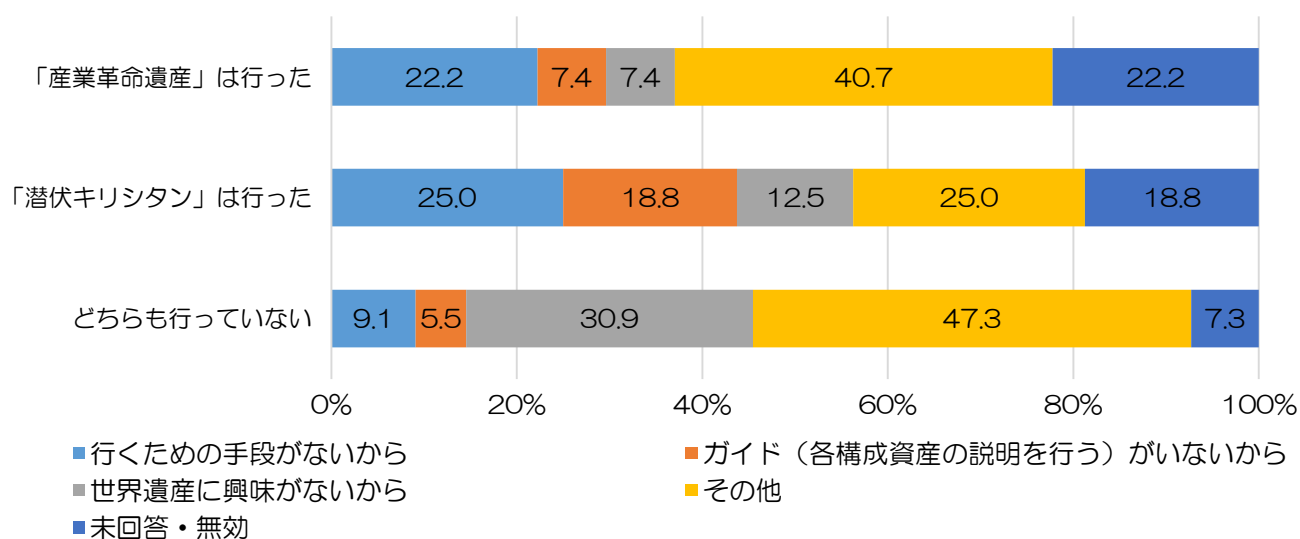


### 〈年代別割合〉





## 〈行った遺産ごとの理由別割合〉



### その他の回答

#### 【「産業革命遺産」は行った】と回答した理由

- ・①小菅修船場跡は身近でバスから見える、⑤旧グラバー住宅は以前からグラバーは行っているが、外海は遠いしテレビなどで見るので、わざわざ行こうとは思わない。
- ・私の場合は、潜伏キリシタンに興味がないから。
- ・興味はあるが遠かったり、そこへ行ったあとのまわりの施設に魅力がない。
- ・見たいんですけど。バスで世界遺産を回るようなことができれば良いと思います。
- ・タイミング
- ・行く時間がないから。子供が、まだ興味を持つ年齢ではないから。
- ・時間がなかなか作れないため。
- ・見どころをもっとPRしてほしい。とりあえず、場所があるだけのイメージなのでもっと宣伝してほしい。

#### 【「潜伏キリシタン」は行った】と回答した理由

- ・時間が取れない。
- ・遠い、他に見るものがなさそうだから。

#### 【どちらも行ってない】と回答した理由

- ・行く機会がないため。
- ・知ってるだけでいいので。
- ・興味がないわけではないが、わざわざ行こうとは思わない。
- ・どこに行けば案内があるか分からないから。
- ・仕事等で時間が取れないため。

- 機会があれば行こうと思う。
- そこまで興味がない。
- 仕事で忙しい。
- 忙しい。
- ゆっくりと見て回る時間のゆとりがない。興味があれば時間がなくても何とかして行くんでしょネ。軍艦島は、いつか近くから見たいと思っています。
- 行く時間が取れない。(2件)
- 観光客で予約がいっぱいそう。
- いつでも行けると思うと逆に行かないパターン。
- 特に理由はない。時間があれば行ってみたい。
- 行く機会がなかったから。(3件)
- 興味はあるが、改めて行くきっかけ(機会)がない。
- 時間がない。
- 仕事をしており時間がない。
- 場所が点々としているから。
- あまり魅力を感じないから。(理由：10代～20代は、やはりあまり歴史に興味がありません。もっと、友人や恋人と気軽に訪れられる場所、イベントにすることが大事だと思います。まず来てもらわないと、歴史にふれることもできないので)
- ⑤旧グラバー住宅⑥大浦天主堂②旧木型場は近頃行っていませんが、小さい頃に行っていた。①小菅修船場跡はバスの上から、よく見えています。

各構成資産に行かない理由として、「世界遺産に興味がないから(20.4%)」との回答が一番多く、特に20代、30代、40代の割合が一番多い結果となりました。

一方で、「ガイド(各構成資産の説明を行う)がないから」と回答した人はどの年代でも少なく、中でも70代以上は回答者がいないという結果が得られました。

また、年代別にみると、「行くための手段がないから」と回答した人は、年代が高くなるにつれて割合も多くなり、70代以上の回答者では半数を占めています。

行った遺産ごとの理由別割合でみると、「産業革命遺産」は行った(「潜伏キリシタン」は行っていない)、「潜伏キリシタン」は行った(「産業革命遺産」は行っていない)のどちらも、「行くための手段がないから」との回答が一番多いことが分かります。

「どちらも行っていない」は「世界遺産に興味がないから(30.9%)」という理由が多く、また「その他(40.8%)」では、行く機会がない、行く時間がない、忙しいなどの回答が多く得られました。